

# 平成16年度決算に対する各会派の見解

## 安定的な財政運営の確立を

### 自由民主党・民社クラブ

平成16年度決算では、人件費の抑制や事務事業の見直し、民間活力の活用などの歳出抑制が行われたことにより、多くの余剰金が生み出され、財政の健全化が着実に進んでいるように見受けられます。

しかしながら、16年度の歳入増は、市町村民税法人分の増収などの外的要因によるもので、景気の変動を受けやすい財政体質であることは否定できません。

さらに、区の地方債の現在高、いわゆる借金ですが、

16年度末で540億円となり、一層の財政の構造改革の確立が急務であると考えております。

特に、今後導入される予定の国の「三位一体改革」につきましても、依然不透明な状況です。区の財政は予断を許さない状況にあると考えております。

私達は、区議会に17人という最大会派となりました。これからも責任ある立場で、区の行政運営の健全化や改革の推進に対して、発言してまいります。

## より一層の区政改革を！

### 民主クラブ

平成16年度の決算は、財政規模が3年連続で縮小する中、28億7千万円余の実質収支を生み出すことができ、単年度収支も20億を超える黒字となりました。

事業部制導入に伴い、各部の権限と責任での予算編成による事業執行や、計画的に進めて来た職員数の削減による人件費の抑制、また、施設の民営化、事業の民間委託等、保育園、図書館、学校給食において最小の経費で最大のサービスが提供されるなど、効果が確

実に表れています。自治基本条例が制定され、民主クラブが強く求めてきた「区長の多選の自粛」が盛り込まれたことは高く評価します。

しかし、中野サンプラザ取得において、議会と区民への説明責任の問題や、幹部職員のタイムカード不正打刻により、区政に対する不信を招きました。

区民の信頼を得られるよう、職員一丸となって、より一層の区政改革に取り組むことを望みます。

## 福祉切り捨て、大型開発へ

### 日本共産党議員団

小泉構造改革で、中小企業の倒産や雇用・所得の破壊がすすみ、3年前に比べ区内事業所は1360カ所減り、給与所得者はひとり平均年間12万2千円もの減りです。社会保障の切り下げがすすむなか、区民の痛みは極限に達しています。

「国全体が目指すべき方向をリードする」田中区長は、区民に「自己責任」や「自立・自助」を求める基本構想を策定し、宮の台保育園を株式会社で管理運営させ、図書館業務や学校給食、3

つの高齢者会館など次々に民間委託をすすめました。その一方で、民間がやるべき中野サンプラザ取得に2億2千万円を投入し、「警察大学校等跡地に緑豊かな4ヘクタール以上の防災公園を」求める区民の声を無視し、高層ビル中心の大規模開発の計画策定へと大きく踏み出しました。

区民要望の情緒障害児学級、耐震診断の助成、新バス路線等評価できますが、幹部職員の不正打刻をかねて区長の態度は問題です。

## 禍根残したサンプラザ問題

### 無所属の会

財政難の中、区民の声に応え、障がい学級の増設や図書購入費の増額等がなされたことは評価できます。

しかし今決算中最大の問題点は、中野サンプラザの出資問題です。効果的に民間手法を活用していくことは当然です。しかし、サンプラザの取得に際し活用した手法は、第三セクター方式という最悪の選択です。

この方式のまずさは、赤字続きで追加の出資を余儀なくされたCTN(シテイテレビ中野)の経営状況を見

れば明らかです。予定した資本構成にも大きな問題がありました。わずか3億円の自己資本(内2億円を区が出資)で50億円もの負債をする計画はあまりにも無謀でした。我が会派の再三の指摘にも関わらず議会や区民への説明無く出資比率の大幅な変更がなされ、経営への関与が限定的なものとなってしまいました。この結果を区は厳粛に受け止め、経営責任を明確にし、今後十分な説明責任を果たすべきです。

## 区民のための事業部制を

### 公明党議員団

平成16年度は、新「基本構想」が策定されたものの基調は、「中野区行政5か年計画」に基づいて行政改革を進める年度でした。その中で事業部制が導入され、区としての取り組みの枠組みが示されました。しかし、決算を見る限り導入の狙いが充分果たされたとはいえません。区財政の状況は、財政指標の面で改善してみられるもののテンポはゆっくりであり、今後の行政課題に引き続きいくためには、さらに効果的な

対応が求められます。厳しい状況の中でも努力と工夫で、公明党が要望していた耐震対策の民間木造住宅補強等支援、保健福祉施設と一体の北部防災公園整備の実施設計、子ども総合相談窓口の開設、図書館サービスの拡充、保育園のサービス向上、区民防犯活動支援、放置自転車対策などが図られました。最後に、区民の生活と安全を守る喫緊の課題の実施については、時代から遅れることのない英断を求めたいと思います。

## さらなる福祉向上の改革を

### 市民自治

04年度は基本構想の改定、自治基本条例制定で、区政を大きく転換させました。学校の建て替えなど大きな支出に備え、基金を増やし、公債費比率も下げるなど、田中区政3年間の改革の成果が現れた年でした。

財政難からの脱出をはかりながら、民間の力を生かす新しい制度を積極的に導入し、区民サービスを拡大しました。指定管理者制度導入による延長保育や産休明け保育の拡充、PFI事業による江古田の森保健福

福祉施設建設着手、区内初の単独型認知症高齢者グループホームのNPO法人による整備、高齢者会館3館の区民団体への運営委託など、民間や区民の力を生かした福祉サービスの拡充を評価します。

これからは公共の担い手を広く民間に転換し、多様な豊かな公共サービスを作っていく時代です。益々重要となる区民との情報共有、制度づくり、権利擁護における行政の責任を着実に果たすことを期待します。

## 閉会中の委員会の動き

平成17年7月～9月

### 総務委員会

- 7/25 報告18件を聴取
- 9/12 報告11件を聴取

### 区民委員会

- 7/28 報告9件を聴取
- 8/11 要求資料1件を審査、報告4件を聴取

### 厚生委員会

- 7/27 報告12件を聴取
- 9/9 世田谷区立東大原小学校を視察、報告9件を聴取

### 建設委員会

- 7/28 陳情84件を審査、報告4件を聴取
- 9/5 報告1件を聴取
- 9/15 報告9件を聴取

### 文教委員会

- 7/11 陳情3件を審査、要求資料1件を審査、報告4件を聴取
- 7/28 報告1件を聴取
- 9/1 陳情1件を審査、報告11件を聴取

### 議会運営委員会

- 8/18 第2回臨時会の日程などを協議
- 9/7 第3回定例会の日程などを協議
- 9/14 第3回定例会の招集日の確認や日程などを協議

### 財政制度調査特別委員会

- 8/23 報告3件を聴取

### 中野駅周辺整備・交通対策特別委員会

- 9/8 陳情1件を審査、要求資料1件を審査、報告4件を聴取

### 防災対策特別委員会

- 9/5 報告1件を聴取、首都直下地震調査報告などについての学習会を開催